

結いの手通信

株式会社グッドナース



～リハビリテーション～

令和7年4月1日

春の日差しが煌めく季節になりました。4月を迎え、いよいよ3号館がオープンします。新年度の始まりと共に新体制となる結いの手。スタッフ一同、新鮮な気持ちで、利用者様やご家族様との関わりを大切にしていきます。



『家に帰って生活したい～日常生活自立を目指したリハビリテーション～』

結いの手飯岡 リハビリテーション職員

交通事故後、多発骨折により急性期病院・回復期病院でのリハビリを経て入居された利用者様について、ご紹介いたします。(80歳代女性、要介護5)

元々は、ご自宅の庭や畑でお花や野菜を育てていたほどお元気に過ごされていましたが、受傷により日常生活動作能力が低下しました。結いの手に入居したときにはリクライニング車椅子を使用し、介助なしでは移動できませんでした。お食事はミキサー食、その他の動作も半介助～全介助の状態。日付の認識や記憶力などの認知機能低下も見られていました。

入居後、ご本人の心身機能を評価しながらリハビリを開始。前院では「介助者のいる状況では歩行器を使用して歩くことができた」とのこと。実際には、片方の脇を支え、手すりに掴まり歩行ができました。また、リハビリ以外の時間は、介護・看護の職員による支援で、1日3回必ず離床し、他利用者との会話やテレビ鑑賞などをして過ごしていただきました。それに伴い、認知機能の向上が見られ始め、「歩いてトイレに行けるようになりたい、家に帰って生活したい」という意欲の向上も見られるようになりました。筋力トレーニングや歩行練習を継続した結果、約半年後に、介護保険でレンタルした歩行器を屋内で使用し、トイレ動作を含めた移動が自立。好きな時間にお部屋からホールへ移動し、余暇活動を楽しめるようにもなりました。

現在は、介護保険の区分変更で要介護2へ向上し、ケアマネジャーを介してご家族・ご本人と相談しながら、在宅復帰に向けた準備を進めています。ご本人の希望に寄り添い、多職種が連携して関わられる結いの手の良いさを活かした経験になったと感じています。

結いの手 レクリエーション

月に2回、各施設でレクリエーションを行っています。

風船を使用したバレー大会で体を動かすことや、季節感を味わうための工作(写真参照)や、簡単なおやつ作りなどを通して、利用者の皆さんと楽しく活動しています。

